

第34回長岡市スポーツ少年団軟式野交流大会

～新型コロナウイルス感染防止ガイドライン～

参加者（選手）が遵守すべき事項

<参加前>

- 必ず検温をし、発熱やせき、のどの痛みなどの症状がある場合は、参加をしない。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、参加を見合わせる。

<参加中>

- マスクを着用する。ただし、競技中については、個人の判断に任せる。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者との距離を（できるだけ2 m以上）確保する。
- 試合中に大きな声で会話、応援等をしない。
- 飲み物やタオル等は自分自身のもののみ飲用、使用し、チーム内で共用することはしない。

<参加後>

- ゴミは、会場にあるゴミ箱に捨てず、持ち帰る。
- 自身の体調変化に注視し、体調がすぐれない場合は保護者や監督に報告、相談する。

保護者・観戦者が遵守すべき事項

<参加前>

- 必ず検温をし、発熱やせき、のどの痛みなどの症状がある場合は、参加をしない。
- 子どもの検温を確認し、体調不良の場合は参加させない。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、参加を見合わせる。
- 応援、観戦する場合は、各チームの来場者名簿に記名する。

<参加中>

- マスクを常時着用する。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者、来場者との距離を（できるだけ2 m以上）確保する。
- 観戦中に声を出しての応援や鳴り物を使用しない。拍手のみとする。
- 選手との接触を控える。

<参加後>

- ゴミは、会場にあるゴミ箱に捨てず、持ち帰る。
- 参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ずチーム代表者（監督または責任者）に報告する。

責任者・監督・コーチが遵守すべき事項

<参加前>

- 選手の体調を把握し、体調不良者は参加させない。
- 手指消毒液は参加校、参加者が準備をし、持参する。
- 各チームは自チームの各日の応援者、観戦者を名簿に記入してもらい、必要に応じて連絡ができるようにする。【応援観戦者名簿】

<参加中>

- 試合中だけでなく、試合の合間や控室等でも3密を防ぐように、注意を払う。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 試合中はマスクを着用し、選手との距離をとりながら指示を出す。

<参加後>

- 会場責任者の指示に従い、会場の消毒作業を行う。
- 参加選手や保護者等が参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、長岡市スポーツ協会（スポーツ少年団事務局）に報告する。

会場責任者・競技責任者が遵守すべき事項

<試合前>

- 試合会場、控室、観戦場所等において、3密を回避する対策を講じる。
- 競技役員を含め、参加者を把握する。

<試合中>

- 各中央競技団体が示しているガイドラインに従い、競技を行う。
- 屋内を使用する場合（更衣室等）は、常時または定期的に換気を行う。
- 試合と試合の間に会場の消毒や用具の消毒を行う。

<試合後>

- 参加チームで協力し、会場の消毒作業を行う。
- 参加選手や保護者、競技役員等が参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、長岡市スポーツ協会（スポーツ少年団事務局）に報告する。

JSBB（全日本軟式野球連盟）感染予防ガイドラインより（上記以外の内容）

- 全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし熱中症予防に配慮すること。（軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、選手並びに球審のマスク着用の義務付けは行わない。）
- 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。